

2022年6月 空港運用状況

**国際線旅客便は規制緩和により徐々に回復傾向
航空旅客数は2ヵ月連続で100万人を超え前年同月比4倍**

【旅客便の動向】

- 国際線は、出入国に係る段階的な規制緩和により、旅客便数は前年同月比151%、旅客数は前年同月比504%と回復傾向が続いています。特に国際線日本人旅客数については、海外の主要国で規制緩和が進んでいることから、ビジネス渡航やレジャー渡航の需要増もあり、前年同月比576%と大きく増加しました。
一方、国際線外国人旅客数も、前年同月比384%と増加していますが、査証取得など入国に係る様々な手続きが求められること等から、国際線日本人旅客数ほど大きく伸びてはいない状況にあります。
なお、通過客を除く国際線旅客数は2019年同月比で10%台となっており、依然、コロナ禍前とは乖離がある状況です。
- 国内線は、昨年6月は一部地域に緊急事態宣言等が発令されていたこともあり、前年同月比で見ると発着回数は251%、旅客数は301%と増加しました。一方、2019年同月比では、3年ぶりに行動制限がないGWがあり9割台まで回復した直近の4、5月と比較すると、発着回数は86%、旅客数は78%と若干の落ち着きを見せています。
なお、7月の足元の状況については、再びコロナウイルス感染者数が増加していることや全国旅行支援待ちの動きもあり、当初想定より需要が伸び悩んでいる状況にあります。

【2022年6月空港運用状況】

※下記表に関しては、主要項目のみ抜粋

区分	2021年6月 ①	2022年6月 ②	前年比 ②/①(%)	2019年6月 ③	2019年比 ②/③(%)
航空機発着回数(回)	9,610	13,196	137%	21,763	61%
国際線	8,070	9,383	116%	17,218	54%
旅客便	3,523	5,325	151%	14,894	36%
貨物便	4,339	3,807	88%	2,118	180%
国内線	1,540	3,813	248%	4,545	84%
旅客便	1,501	3,770	251%	4,386	86%
航空旅客数(人)	299,234	1,178,870	394%	3,615,315	33%
国際線	137,149	691,750	504%	2,993,118	23%
日本人	31,102	179,202	576%	1,089,843	16%
外国人	43,235	166,094	384%	1,509,527	11%
通過客	62,812	346,454	552%	393,748	88%
国内線	162,085	487,120	301%	622,197	78%
国際航空貨物量(t)	209,073	200,554	96%	172,170	116%

【貨物便の動向】

- 国際線貨物便の発着回数は、欧米各国の規制緩和に伴い旅行需要が回復し、今まで臨時貨物便で使用されていた機材が旅客便の運用に回わされていることにより、前年同月比88%と下回っているものの、2019年同月比で見ると180%と好調を維持しています。
- 国際航空貨物量は、ロックダウンは解除されたものの、中国国内の自動車関連の荷動き鈍化及び今まで臨時貨物便で使用されていた機材が旅客便の運用に回わされていることにより、アジア発北米向け三国間輸送に影響が生じ、特に仮陸揚げ貨物が低調となり、貨物量全体で前年同月比96%と下回りました。しかし、2019年同月比では116%と引き続き高い水準を維持しております。

品目別では、引き続きの世界的な半導体不足により、自動車製造に影響が出ていることから自動車製造に使用される部分品、プラスチック、原動機の荷動きが低調だった一方、半導体製造装置、IC関連については荷動きが好調でした。

また、例年この時期に輸入が活発となるアメリカンチェリーは、先月に引き続き、天候不順による不作の影響で、荷動きが低調でした。

(参考:2022年上期空港運用状況)

【旅客便の動向】

- 国際線は、段階的な出入国に係る規制緩和により、海外からの留学生の需要等が増加し、旅客便数は前年同期比137%、旅客数は前年同期比369%と回復傾向が続いています。特に通過客については、東南アジア各国の規制緩和もあり、上期を通じて好調を維持したことで前年同期比537%と大きく増加し、2019年同期比でも7割程度まで回復しました。
- 国内線は、1, 2月はコロナウイルスオミクロン株の拡大による行動制限があったものの、4月末からの3年ぶりの行動制限のないGWの影響等もあり、旅客便数は前年同期比225%、旅客数は前年同期比257%となりました。

【貨物便の動向】

- 国際線貨物便の発着回数は、3月末から6月まで続いた中国におけるロックダウン等の影響や欧米各国の規制緩和に伴い旅行需要が回復し、今まで臨時貨物便で使用されていた機材が旅客便の運用に回わされていることで、前年同期比88%と下回ったものの、コロナ前の2019年同期比では192%と好調を維持しています。
- 国際航空貨物量も、中国におけるロックダウン等により自動車関連を中心に影響を受け、前年同期比99%と下回ったものの、IC、半導体製造装置、医薬品等の伸長もあり、2019年同期比では125%と好調を維持し、暦年上期では2021年上期に次いで2位となりました。

【2022年上期空港運用状況】

※下記表に関しては、主要項目のみ抜粋

区分	2021年上期 ①	2022年上期 ②	前期比 ②/①(%)	2019年上期 ③	2019年比 ②/③(%)
航空機発着回数(回)	58,492	74,731	128%	129,596	58%
国際線	48,655	52,921	109%	102,956	51%
旅客便	21,073	28,934	137%	89,656	32%
貨物便	25,783	22,777	88%	11,874	192%
国内線	9,837	21,810	222%	26,640	82%
旅客便	9,583	21,556	225%	25,878	83%
航空旅客数(人)	1,737,225	5,240,703	302%	21,673,022	24%
国際線	686,237	2,534,967	369%	17,966,767	14%
日本人	172,109	594,519	345%	6,907,736	9%
外国人	280,632	685,464	244%	9,211,063	7%
通過客	233,496	1,254,984	537%	1,847,968	68%
国内線	1,050,988	2,705,736	257%	3,706,255	73%
国際航空貨物量(t)	1,244,879	1,231,433	99%	983,634	125%

空港運用状況(2022年)

成田国際空港株式会社 広報部

区分	1978.5.21- 2021.12.31 までの計	2022年												暦年計	日平均	累計
		確定値				速報値										
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
航空機発着回数(回)	6,417,771	12,515 (131)	10,349 (136)	12,835 (119)	12,672 (116)	13,164 (131)	13,196 (137)							74,731 (128)	413	6,492,502
国際線	5,708,531	9,008 (113)	7,783 (112)	9,205 (102)	8,680 (102)	8,862 (109)	9,383 (116)							52,921 (109)	292	5,761,452
旅客便	4,721,289	4,646 (128)	4,141 (133)	4,706 (123)	4,954 (140)	5,162 (149)	5,325 (151)							28,934 (137)	160	4,750,223
貨物便	891,164	4,120 (102)	3,499 (97)	4,296 (90)	3,559 (76)	3,496 (81)	3,807 (88)							22,777 (88)	126	913,941
その他	96,078	242 (88)	143 (57)	203 (48)	167 (54)	204 (61)	251 (121)							1,210 (67)	7	97,288
国内線	709,240	3,507 (222)	2,566 (390)	3,630 (211)	3,992 (169)	4,302 (217)	3,813 (248)							21,810 (222)	120	731,050
旅客便	679,114	3,466 (226)	2,522 (400)	3,572 (213)	3,957 (171)	4,269 (222)	3,770 (251)							21,556 (225)	119	700,670
貨物便	5,879	0 (0)	0 (0)	2 (29)	0 (0)	1 (-)	0 (-)							3 (16)	0	5,882
その他	24,247	41 (100)	44 (176)	56 (147)	35 (97)	32 (56)	43 (113)							251 (107)	1	24,498
航空旅客数(人)	1,120,386,505	617,512 (228)	505,310 (333)	860,238 (260)	966,363 (273)	1,112,410 (337)	1,178,870 (394)							5,240,703 (302)	28,954	1,125,627,208
国際線	1,034,624,629	237,432 (178)	198,757 (247)	335,960 (316)	488,767 (425)	582,301 (513)	691,750 (504)							2,534,967 (369)	14,005	1,037,159,596
日本人	561,146,247	53,558 (159)	41,059 (192)	77,063 (253)	110,109 (384)	133,528 (499)	179,202 (576)							594,519 (345)	3,285	561,740,766
外国人	280,997,456	52,860 (80)	48,328 (144)	97,933 (208)	160,486 (302)	159,763 (428)	166,094 (384)							685,464 (244)	3,787	281,682,920
通過客	192,480,926	131,014 (391)	109,370 (428)	160,964 (559)	218,172 (655)	289,010 (584)	346,454 (552)							1,254,984 (537)	6,934	193,735,910
国内線	85,761,876	380,080 (276)	306,553 (430)	524,278 (233)	477,596 (200)	530,109 (245)	487,120 (301)							2,705,736 (257)	14,949	88,467,612
国際航空貨物量(t)	69,279,965	209,148 (109)	195,021 (104)	227,150 (97)	204,731 (94)	194,829 (95)	200,554 (96)							1,231,433 (99)	6,803	70,511,398
積込	32,339,131	92,411 (101)	93,259 (100)	103,514 (91)	94,921 (90)	90,911 (94)	96,900 (96)							571,916 (95)	3,160	32,911,047
輸出	22,972,707	62,695 (97)	69,684 (99)	76,262 (91)	69,626 (88)	62,481 (93)	69,169 (95)							409,917 (94)	2,265	23,382,624
仮陸揚	9,366,424	29,716 (112)	23,575 (103)	27,252 (92)	25,295 (95)	28,430 (96)	27,731 (99)							161,999 (99)	895	9,528,423
取卸	36,940,834	116,737 (116)	101,762 (108)	123,636 (103)	109,810 (98)	103,918 (96)	103,654 (96)							659,517 (102)	3,644	37,600,351
輸入	27,788,175	85,392 (120)	77,547 (111)	95,275 (108)	82,948 (102)	75,451 (100)	75,393 (96)							492,006 (106)	2,718	28,280,181
仮陸揚	9,152,659	31,345 (106)	24,215 (100)	28,361 (88)	26,862 (88)	28,467 (87)	28,261 (94)							167,511 (94)	925	9,320,170
給油量(kl)	184,474,774	233,321 (123)	206,387 (122)	231,640 (107)	217,532 (104)	225,405 (116)	226,750 (119)							1,341,035 (115)	7,409	185,815,809

(注) 1. ()内数値は、前年同期比。 2. 航空機発着回数は、回転翼機を除く。 3. 国内線旅客数は、回転翼機によるものを除く。 4. 国際航空貨物量は、東京税関の資料による。 5. 給油量は、単位未満を四捨五入して表示している。

